

企画建設常任委員会 摘 録

1. 開 催 日 令和6年9月9日(月) 第3委員会室
2. 出 席 委 員 吉川遂也委員長 藤原洋二副委員長 近藤久子 政野太 松本みのり
3. 欠 席 委 員 堀井秀昭 徳永泰臣
4. 事務局職員 横山和昭議会事務局議事調査係長
5. 説 明 員 なし
6. 委員外議員 なし
7. 傍 聴 者 なし
8. 会議に付した事件
 - 1 陳情、要望について
 - 2 行政視察について
 - 3 その他

午前11時26分 開 議

○吉川遂也委員長 ただいまから企画建設常任委員会を開会いたします。傍聴、録音、写真撮影、録画を許可いたします。欠席届が堀井委員、徳永委員より提出されております。

1 陳情、要望について

○吉川遂也委員長 協議に入りたいと思います。1項目め、陳情、要望について。陳情第17号、18号、28号、29号、30号が当委員会に送付されております。それぞれについていかが取り扱うのがよろしいか、皆さんにお諮りしたいと思います。陳情第17号帝釈峡まほろばの里キャンプ場とコテージ新築造成工事の見直しを庄原市長に要請することを求める陳情書については、いかが取り扱いましょうか。御意見があればお願いします。陳情第17号、18号、30号とほぼ同じ内容になっておりますので、あわせて審議したいと思います。この件については、今定例会中に担当課であります商工観光課から進捗状況についての意見聴取をする予定にしておりますので、あわせて情報提供いたします。

○近藤久子委員 17号と18号の内容の違いは。

○横山和昭議会事務局議事調査係長 陳情書、要望書と表記が違っている点です。17、18、30号は全て同趣旨の陳情、要望と考えていただいて大丈夫かと思います。

○政野太委員 今、委員長からありましたけれども、進捗について担当課の説明を受けるということでしたよね。ここにいろいろ数字とか書いているのですけれども、これを担当課に確認する必要があるのではないかと思いますので、今回はこれについて決定を出さずという方法も可能なのでしょうか。

○吉川遂也委員長 ほかに。では担当課にこの事業についての進捗状況、あるいは様々な計画の中身について具体的な話を聞く機会を設けますので、この陳情17号、18号、30号については聞き置くという対応をさせていただければと思いますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○吉川遂也委員長 では次、陳情第28号、子どもたちと多世代の集いの場の利用予測と管理運営に係る情報の開示を庄原市長に要請することを求める要望書。第29号、子どもたちと多世代の集いの場の整備計画に基づく駐車場・ベビールーム・ウッドデッキ整備事業の入札・契約手続を留保し計画の精査と住民への説明を行うよう庄原市長に要請することを求める要望書について、いかが取り扱いますでしょうか。当該事業についても、本年度の予算審議の中で慎重に当委員会としても進捗を見守るという方針を出しております。今定例会のうちに、この事業については議員全員協議会の中で報告をしたいという話を聞いております。どのような格好になるかわかりませんが、仮に議員全員協議会で話がないという方向が出た場合には、当委員会で報告を求めたいと思っております。

○近藤久子委員 本議会においても、この件につきましては様々な御意見を頂戴しておりますし、この委員会においても今後きちんと精査する中でまとめ上げられる内容だと思います。とりあえずこの陳情28、29号については聞き置くとしてよろしいかと思います。前に進んでおりますので。

○吉川遂也委員長 そのほかないですか。では陳情第28号、第29号については当委員会でも担当課を含めてこの事業については精査し、また進捗状況については順次、報告をいただくという話を進めていきたいと思っておりますので、聞き置くという対応をさせていただければと思いますがいかがでしょうか。

〔「よし」との声あり〕

○吉川遂也委員長 よろしいですか。では以上で協議事項1点目、終了いたします。

2 行政視察について

○吉川遂也委員長 資料を載せておりますけれども、所管事務調査事項、自治体及び地域社会のデジタル化推進に関する委員会視察について御説明いたします。本日、どのように取り扱うかを協議していただいで決定したいと思っております。日時については令和6年10月9日から10日まで。視察先は地方自治情報化推進フェア2024年、幕張メッセHALL9-11です。案内URLを載せております。主催は地方公共団体情報システム機構J-LIS、後援として以下の団体がついております。本視察の目的として、所管事務長調査事項であります自治体DX及び地域社会のデジタル化推進について、を調査するに当たり、企画課デジタル推進係からは現在の取り組み状況の聞き取り、ノーコードアプリ作成システムキントーンの説明を受けたほか、三原市へデジタル化の取り組みについて行政視察を実施しました。本市における自治体DXの推進については、委員会である程度の知見を共有することができていると感じておりますけれども、地域社会のデジタル化推進に関してはいまだ議論が成熟に至っていません。このため、上記視察先において、全国の自治体DX担当者、地域社会DX化の有識者、事業者等との情報交換や情報収集をすることで、当委員会に有用な知見を得ることができるまたとない機会と捉えております。ことし中に調査報告を行うことを議長から求められていることもありまして、情報共有した上で今後の報告書の取りまとめ作業に入りたいと考えております。これを本視察の目的としております。皆さんから意見があればお願いします。

○近藤久子委員 全国の自治体DX担当者、地域社会DX化の有識者、事業者等との情報交換や情報収集とありますが、これがメインだと思うのです。どういう形で意見交換、情報収集ができるのか教え

ていただけますか。

○吉川遂也委員長 様々なパネルディスカッションが行われます。それから、多種様々な観点から様々な方の講演が予定されております。もう1点は、各企業がそれぞれの自治体DX、あるいは社会に関するDXの商品、あるいはプランをプレゼンテーションされるブースをかなりたくさん設けられております。ここで全ての情報が入手できると認識をしています。

○近藤久子委員 幕張メッセという会場では、車であるとか各企業がPRのためにいろいろなことをやるわけです。今回もそういうことが強いと思うのですけれども、私はここに行こうとかあなたはそこがいいとか、それをまた持ち寄ってどうするのか。全員でうろうろするわけにはいけないので、そういう集中的な視察はどのように考えればいいのでしょうか。

○吉川遂也委員長 その点については、10月9日午後1時10分から3時10分まで、自治体DXを進めるための課題及びその解決策や官民連携に関するパネルディスカッションが2時間ほど予定されております。それを皆さん共通で見ていただいて、そのほかについてはトークセッションなどいろいろありますので、それを全員で見るのが効率的か、あるいはこれはと思うテーマについてそれぞれの委員で視察をしていただくのが効率的ではないかと思います。何人かずつでもいいかと思いますが、そういう方式でどうか。ほかに方法があればと思いますが。

○近藤久子委員 委員長がおっしゃった方法でよろしいかと思うのですけれども、知っておいたほうがいい内容もあるのではないかと思います。ただ聞いて帰るのではなく、もっと前向きに講演を聞くためにはそれが必要なのではないかと思います。それで全員で同じものを見て、後はそれぞれがという方法でないとまずいかと思っています。最初から全員がばらばらでは困る。

○吉川遂也委員長 全員で一つのものを見る、これが日程的に行ける時間で精査したらそうとなっております。予定としては9日の昼ぐらいに現地着、次の日の昼過ぎから夕方に現地発になろうかと思えます。時間は両日9時半から5時半まで設定をされておりますので、先ほど申し上げたパネルディスカッションを見た後、先般お配りしたパンフレット、あるいは書いている案内URLからそれぞれこれを見たいというものがあれば、事前にそれぞれのトークセッションについて申し込みが必要かは確認しますけれども、先に聞いたところによると自治体職員が優先されるそうです。仮にいっぱいであれば入れない場合もあるかもしれません。それぞれどういう規模で何人定員かは確認できないので、まず申し込みをしないといけないので、そこも含めて確認します。全員の一斉行動でやるのが効率的かどうかという点については、先ほど申し上げた…

○近藤久子委員 常にではなくて、全員が一つのものは聞いたほうがいいのではないかと。

○吉川遂也委員長 それは、一つは設けたいと思います。2日目も共通セミナーがあるのですが、専門的なものが多い。トークセッションあるいは企業ブースで時間を区切って説明されるので、こちらからもメニューは提供しますがそれでもそこは調べていただいて、どれを見たいかについては検討しないといけないかと思います。

○近藤久子委員 企業ブースはPRだと思うのです。そのPRを聞くときに、私たちはどういう心構えで聞けばいいのかと思うわけです。日々こう前進していますから。

○吉川遂也委員長 それについても、わからないので行って聞こうというのが趣旨なのですが、日々新しいテクノロジーがある。例えばそれをどこかの自治体に取り入れて、その状況を見に行けば一つのものしか知見を得ることができない。今回については数十社がそれぞれの観点から展示をされるので、

それを見に行くことは大変効率がいいかと思っております。

○松本みのり委員 DXの視察先として、ここが適切なかどうかから話をするものと思っていたのです。内容がかなり専門的だったり先進的なものをいろいろ展示しているが、庄原市もDXに向けて歩み出したところで、それを取り入れていく土壌がまだ育ちきっていないのではないかと考えている。きょうは堀井委員も徳永委員もいらしていませんけれども、我々が行って何をきちんと持ち帰って一つでも生かしていける形にできるのが1番気になっています。

○吉川遂也委員長 1点としては、昨年度も同じようなフェアがありましたけれども、庄原市の職員も行っています。市の職員はこういう情報を見て市の行政に生かそうという姿勢をとっているのですが、委員会はこれに至っていないとすれば、職員の情報量と議員の情報量は乖離していく一方。議員がそれを審議するに当たって、職員が勉強して事業を進めていることをある程度フォローしておく必要もあるかと思います。

○松本みのり委員 職員の方には行っていただきたいフェアだと思うのですが、企画建設常任委員会で行くとして、企画課の方が一緒に行かれるのでしょうか。

○吉川遂也委員長 通常の行政視察であれば課長が随行しますので、課長はついて行くと思います。

○藤原洋二副委員長 各委員のいろいろな意見をいただくのですが、本年度の企画課の行政事務処理推進事業なり、デジタル化推進事業、大きくは二つの事業を推進されております。私が思うのは後追い事務になっているということで、特に先般、三原市とか先進的に行われているところに行きましたけれども、そもそも庄原市はスタートが遅いとは私と考えているのです。こういったフェアなりに行けばいろいろなシステムがあろうかと思うのですが、システムの導入自治体が即わかると思うので、いいところと悪いところ、悪いところはないかもしれませんが、こういった方向性を自治体の議会としてどこまで把握できているか。できるかというのは、個別に行くよりもこういったフェア等へ行って学ぶほうが私にはいいと思っておりますが、あとは委員さんの意見をまとめればいい。

○政野太委員 先ほどありましたが、民間の技術力を披露するという部分はもちろんあると思うのです。ただこれを主催されているのが地方公共団体情報システム機構。これは国及び地方公共団体が共同運営する法人。後援を見ていただくと総務省デジタル庁を初め、あらゆる公共機関が後援をして開催されるフェアですので、委員会としてそこを選ぶことについての問題はないのではないかと。そこに行って何を持って帰るかなのですが、趣旨にも書いてあるとおり閉会中の継続調査ということでデジタルに関連する最終報告もしなければいけない。実際は、私たちも先進的なものが今どこに進んでいるのかが見えないのが実情だと思いますので、そういったものに少しでも近づけるフェアであると私は思います。ここに行くことについては特に問題がないとは思いますが。

○吉川遂也委員長 先ほど政野委員からありましたように、12月定例会で報告という作業に入るのに、地域社会のデジタル化という知見が全く広がらなかったところもあって、どういう方法がいいか常に考えていたのです。例えば回覧板のデジタル化という事業だけを視察に行っても、それがどのような効果があるかの知見しか得られない。今回は一つの方法だけではなく、様々な方法で社会のデジタル化がどのように活用されているかという知見を得るまたとない機会になると捉えたところです。政野委員からも提案があつて視察先の選定に当たったのですが、これを見に行くことで将来にわたって庄原市で地域社会のデジタル化を進める方向を検討する材料を得ることができるのかと。また報告の中で提案できる事項がふえれば、当委員会としても報告がしやすいと思います。帰ってきて、そ

れぞれが見聞きした情報を共有して、こういう事例があつてこういうものなら庄原市でも使えるのではないかという話があれば、それを委員会で取りまとめる作業をして、報告書をつくっていきたいと思っております。これに行かなくてもいいとなりましたら、地域社会のデジタル化を進めるという知見を深めていただく機会、視察を10月くらいまでには終わらせなければならないので、外部から知見を得ることができない可能性が高くなります。それぞれの委員が情報を掘り下げていくという作業になってくると思うので、その辺も踏まえての提案であると再度申し上げたいと思います。

○政野太委員 1番大きいのがA4の見開き版パンフレットだと思うのだけれども、これは皆さん見られているのですか。2日間の内容が結構詳しく書いてあるので、ゆっくり見てもらったらどういうセミナーがあるかもわかる。

○吉川遂也委員長 本来であれば2日間あるので、2日間しっかり見たいところではあるのですが、丸一日の日程をとるように考えました。

○近藤久子委員 行かなくてもいいという表現は誰もしていません。言われたように報告書をまとめないといけなし、この委員会に課せられた課題もみんな認識して三原にも行ったわけです。幕張メッセで、今まで何が行われてきたか。本当に企業のPR合戦といろいろなことがあるのですけれども、私たちの心構え、パネルディスカッションという、みんな同じものを見聞きするところが一つ欲しい。あとは政野委員がおっしゃったように、何があつて自分はここに行って何を学びたい、何を聞きたいというものをしっかり持って行かないと。すごい人だと思うのです。歩くだけでも相当かかると思うのです。そういうものをしっかりと踏まえた上での研修をしなければならない。この前の話の中で急に出てきたものですから、きょう来られていない委員も、何でということになったのだと思うのです。だからそういうところも考えれば、着実な行動をとる中でやれば別に行かなくてもいいという表現にはならないと思う。企画建設常任委員みんなで考えないといけない。慎重審議の上で決めていくことだと思います。

○松本みのり委員 時間帯でどのセミナーなら参加が可能なのかを見ておかないと、行ったはいいけれども結局聞きたい話は聞けなかったようでは仕方がない。

○吉川遂也委員長 日程をふやすことはできる。皆さんの状況を踏まえて、2日も見てよくわからなかったということになってもいけないと思ったので、丸1日は最低居られるような日程でどうかと。見るところがいっぱいあるからもっと見たいという意見でしたら、前泊あるいは後泊をし、日程もまた検討すればいい。私としても見たい講演が多い。これは聞いておいたほうがいいのかというのは結構あるのです。それを委員全員で見るのはどうかというところもあったので、先ほど近藤委員が言われたように一つは共通で見て、そのほかはそれぞれの思いもありましょうから、それはそれで資料を見ながら計画を立てて、後でそれを一つに合わせて報告をしたいと思っています。

○政野太委員 基本的には9日のパネルディスカッションは全員で聞いて、10日を自分が思うところと分けてもいいということですね。

○吉川遂也委員長 それでどうかと思うのですが、これだけ膨大なメニューがある中で、少しずつのものをみんなで見に行きましょうではそれぞれ違うかなという提案ですが。みんな共通で見て、意見交換したほうがいいのかと言われればそうでもいいかと思います。

○近藤久子委員 ものすごく斬新なものを学ぶのではなく、今後の取り組みにこういう方法もあるのだというところを学びに行くのですよね。でも各企業においては斬新なものもあると思います。

- 吉川遂也委員長 企業ブースは技術展示ばかりには多分なっていないと思うのです。自治体職員が視察する場所なので、将来的に行政あるいは国はこのような方向を考えている、では自治体はどこまでやらないといけないか。そういったニーズにはこういうものが適応するのではないかとということも含めて、罹災証明であるとかスマートスピーカーという高齢者の見守り事業をするとか、様々なガバメントクラウドの自治体DX事業とか、いろいろなメニューがあるわけです。それが全て商品の売り込みだけではない。
- 近藤久子委員 国が進めていますから、企業はそれに特化した開発を必死でやっているわけです。それのPRの会場であることに間違いはない。庄原市にとっての今後の方向づけをつかみに行くのならよく分かる。ブースの中でもことここがという選定はできないのですか。
- 吉川遂也委員長 1日大体40社が展示をされる。それぞれの会社がどういった技術展示をされるのかわからないところもある。
- 近藤久子委員 企業にしてみたら、自治体に自分の会社が開発したものを取り入れてほしいわけです。そのためのこれです。
- 吉川遂也委員長 プレゼンはあるのだけれども、ブース説明はずっと置いてあるのですね。例えば測量の関係の技術展示などもあるし、社会実装する高齢者の見守りや回覧板を電子化するというものもあると思います。どの会社が何をやっているかを事前に調べて、そこを中心にみんなで見るのがいいのか。
- 近藤久子委員 私は開発の売り込み合戦だと思っています。それをどこの自治体に取り入れて、自社の開発したこれを使っていただけるのかどうかというのが。国が推薦しているのですから企業も必死ですよ。デジタル化は全国の自治体が進めないといけないことですから。
- 吉川遂也委員長 知見を得て自治体は事業を取り入れていると思う。例えば一緒に見に行った執行者がこれはいいと思って取り入れたものについて、同じ情報を得ていればそれはこういう面からだめなのではないかということも言える。市の担当課が聞いてきて、これを取り入れますと言われたときに、いいか悪いかの判断をするときに材料がないよりも、同じ情報を持っていたほうが判断はできるのではないかと思います。
- 松本みのり委員 情報を活用した課題解決のヒントがここにある、というのを打ち出してこのフェアを企画されているのですけれども、こちらとしても庄原市のこの課題を解決したいのだという強い目的意識を持って行かないと、あれもいいね、これもいいね、そんなものもあるね、面白かった、で終わってはいけないということがすごくあるのです。
- 吉川遂也委員長 当然そうはならないです。どの行政視察も庄原市の課題に対する目的を持って行くわけです。必ず行政視察の目的を報告書で書きますから、それぞれテーマを決めていただいてもいい。例えば委員長・副委員長がこれを目標にして皆さん見てくださいと言うと、それぞれ委員の受け入れ方に差があるので、それぞれの委員の価値観を尊重したいのが私の思いなのです。そうではなくて、委員会としてそれぞれ手分けをして見てくれと言われるのなら、それも手法としては受入れますけれども、後で最終的には報告を出してもらわないといけない。自分も全く分からない分野を、これは庄原市にとって必要なもので見てきてくれというのが、どれほど効果があるものかという疑問がある。例えば林業が好きだったら、林業に関するテクノロジーについて庄原市にどの程度受け入れられるかを見に行きたいとか、農業に関してはこうだとかとやったほうがいいのかと思ったのです。それぞれ皆

さん得意分野が違おうと思うので、それをデジタルにどう当てはめていくかを見ることができる機会だ
と思っているのです。

○松本みのり委員 委員会としてこうでしたと市に提言をするに当たって、個々に提言したのでは力に
なりにくいのかと。まずは一つ突き詰めてやってみようかがないと、せっかく委員会で行くのに個人
で行くのか変わらなくなってしまう。

○政野太委員 デジタルは一つではないので、今、松本さんが言われたのでいいと思います。全分野に
関与しているものなので、それぞれの意見、得るものも違うでしょうから。それを委員長報告に全部
入れてもらえるかどうかはわかりませんが、ただその視点で行くには最適なフェアかとは思います。

○吉川遂也委員長 地域社会のデジタル化推進について、我々が想定しているもの以外のものが出てき
たらそれは面白いと思いますし、想定しているものしか出ていない可能性はない。もっと進んでいる
と思うので、それを中心に見ていきたいと思っています。地域社会がということになると、例えば自
治組織の運営をデジタル化するのか、あるいは林業・農業もそうですし、中小商店も含めて商店をど
のようにすれば省力化できるかという視点も、全部が地域社会のデジタル化推進ということになりま
す。見てきていただきたい、報告書に載せたいのはそういった部分になります。行くか行かないかも
含めて、それから日程を丸々2日とるほうがいいのか、丸1日とるほうがいいのか。そのようなところを
決めていただければ。

○政野太委員 1カ月を切る時期になるので、これからさらにこれ掘り下げて最終的に決めようという
ことにはならないと思うのです。委員長の思いもしっかり聞かせていただきましたので、もう行くとい
う前提。ただし先ほどから意見があるように、中身についてもう少し見えないところがあるので、
行くまでには中身についてどういう整理をするのか委員長・副委員長でまとめていただいて、御提案
いただければと思うのですけれどもいかがでしょうか。

○吉川遂也委員長 中身についてはホームページの情報を集めてみます。それで情報共有ができるよう
に皆さんにお示ししたいと思います。各企業がどのような技術展示をされるかについては、入ってい
る企業数が膨大なので、それぞれのデータを全部出して一覧にすることは難しいと思います。地域社
会のデジタル化推進に活用できそうなブースは、おのおので見たいと思っています。取り
あえず行くか行かないかについてはいかがでしょうか。私としては、これは委員長報告の中では必
要なものなので、ぜひ委員で情報を共有して知見を高めたいと思っています。

○近藤久子委員 前段に委員長がもう行きますからと言われて、そういう決め方はなかろうと。みんな
で話し合っただけで決めないといけないと、欠席していらっしゃる委員から出てきたことは確かです。そも
そも政務調査費で行ったらどうなのかと堀井委員がおっしゃっていて、出発点がごたごたしている
ところが気になるのです。先ほどから委員長がおっしゃっていますように日程的なこと、それからこの
委員会でもとめなければならない内容のこと。それを鑑みますと、行くことには反対もないと思うの
ですが、行程をもう少し詳しく教えていただいた上で、幕張メッセの広い会場の中に飛び込んで行か
ないと少し戸惑いがあるのではないかと思います。できる限りの資料をいただきたい。

○吉川遂也委員長 決める方法論云々という話があったのですが、前回は取りあえずこういうことを検
討している中で、日程を押さえていただきたいという情報提供であると。詳細については、きょうの
委員会を決めるという方向で事前に事務局と話を進めていたので、急に出てきた話ということであれ
ばそのような取られ方もあったかもしれません。1カ月程度前なので、日程調整をお願いしたいとい

う意味で先般の分科会の後に情報提供をしたので、遅いと言われればそうかと。皆さんに事前に視察先について行きたいところがあればという話をずっとしていく中で、政野委員からここはどうかとあったので、それを議論にのせたということは御承知おきいただければと思います。先ほどあった情報提供については、ホームページにそれぞれの企業がどういう取り組みをしているか全部リンクが張ってあるみたいですので、それを確認していただかないと資料としては膨大なものになると思います。出展者一覧等もあるので、そこから入っていただいて情報を取ると。共通のトークセッションについては、こちらでプリントアウトできるかと。日程的にはどうでしょう。それからもう1点、個人の政務調査で行けという話があった。

○近藤久子委員 そもそも政務調査で行こうかと政野委員が言われていたのではないですか。いやこれなら委員会で行けるのではないかという話になってきたとは聞きましたけれども。

○吉川遂也委員長 政務調査で行くと委員長報告に入れられないので、そういう判断をしたところです。

○近藤久子委員 もう行くことに決めて、今委員長がおっしゃったように日程的に前泊にするのか、1泊2日にするのか。こういう日程だから前泊しなければ無理だと、こういう日程なら1泊でオーケーというものを出示していただければそれで決まるのではないですか。

○吉川遂也委員長 開会は9時半なので、最初から見ようと思えば前泊になろうかと思うのですが、その日の朝出発にして、昼到着、昼から視察にすれば、共通のパネルディスカッションを見て、そのあとは各々が情報収集に走るというところで、1泊2日でもできます。この内容をもっと見たいということであれば、丸々次の日の終わりまでという日程をとれば、5時まで見て帰ってこられるかどうかですけれども、その辺はわかりません。

○政野太委員 1日目の10時は生成AI活用に向けて自治体はどう取り組むべきか。これはまだ庄原市で取り組むべき課題ではないかと。午前中にある二つ目が、人工衛星とAIによる水道管の健康診断。これもよその事例がしっかり出てから勉強すればいいものかと。そうすると昼からのパネルディスカッションから参加をさせてもらうのがいいと思うので、前泊は必要ないかと思うのです。2日目の最後の講演が16時までとなっているので、帰って来られますよね。

○吉川遂也委員長 前泊後泊なしの1泊2日で、丸1日は見るようにという方向でやりましょう。

○近藤久子委員 今から技術がどう進んでいくかを学ぶ機会でもあると思うのです。こんなこともできるのかという未来志向の考えを見聞きすることもあるのだろうけれども、これはというものをしっかりつかんでくるような研修でないという意味がない。

○吉川遂也委員長 恐らくデジタル推進係も、どう展開していくかを今検討しているところだと思う。すごく未来のプランが地域情報化計画にないようで、どうすればもっとよくなるかという観点で、デジタル推進係と同じ目線で見られると思いますのでいいかと思います。

○政野太委員 10月9日の15時からとか、パネルディスカッションの後に行われる講演は非常にハイレベル。これは必要ないので、このときに現地を見させてもらおうと。2日目に四つあるではないですか。昼からの二つも、総務省のデジタル庁戦略とか。午前中にある四つについては自治体の担当レベルでの話だと思うので、一つのところに行くのではなく分かれて、自分が聞きたいところに参加をするという方法をとることはできるのですか。一つは東京都墨田区の産業観光部長、もう一つは山形県酒田市の企画部振興調整課デジタル変革主幹兼デジタル変革戦略室長、もう一つは日田市の総務企画部の情報統計課長、もう一つは愛媛県宇和島市。この四つについては参考になるかと思うのです。

- 吉川遂也委員長 そういう方法も一つかと。今あった四つをどうチーム分けをするかを含め、考えてみてもいいかと。
- 近藤久子委員 だからその広い会場で、どこに行こうか、どうしようかという迷いがないような行動を取りたいわけです。
- 吉川遂也委員長 厳密に言えばフルで見えていただくのがいいと思いますが、それを縛るつもりはない。個人的には見るべきものがいっぱいあるので動きたいですし、動くのがという方は自分の興味あるところを見ていただいてもいいかと。これは裁量の部分で、個人の判断で動いていただけたところはあってもいいかと。ですが先ほど政野委員が言われたような、2日目の午後からのセッションを分けて見ることは取り入れてもいいかと。大体そういう方向で検討して計画をつくりませんが、よろしいでしょうか。ではそのように取り計らいます。
-

3 その他

- 吉川遂也委員長 そのほか皆さんからありますか。事務局。
- 横山和昭議会事務局議事調査係長 商工観光課から、まほろばの里のコテージ建設の関係でヒアリングをとという話だったと思います。大まかな日程を決定していただければ執行者と調整をとります。
- 吉川遂也委員長 事前に調整をしているのですが、日程としまして一般質問の最終日が終わった後、24日の終了後に30分くらいで検討したいと思いますが、いかがでしょうか。
- 政野太委員 先ほどのいろいろな要望・陳情があった中で数字がいっぱいあったのですが、その整合性をはかりたいではないですか。それは事前にわかることだと思うので、その資料をもらえるのかどうか。こちらからこの数字は本当かということをやっていたのでは、時間もかかるばかりだと思うので。
- 吉川遂也委員長 今、商工観光課長と話をしているのは、事前に説明があったコテージ2棟を建てるというものを1棟に変更したことについて聞きたいと言っています。今後どのような管理をするつもりなのか等もまだ検討ができていないので、その辺も含めてどうするのがよいかという意見聴取なり、こちらからの意見を言う場面にしたいと思っています。日程調整については、一般質問が3日行われる中で調整させてもらっているいいですか。24日で調整させてもらっているいいですか。いちばんづくり留学事業については特に変更なしで申し込みも多数であったということで、順調に推移しているところを踏まえて、今回、特に進捗を見守る状況ではないという判断をしたと。
- [「26日ではどうか」との声あり]
- 吉川遂也委員長 26日にできるか確認します。24日か26日で調整します。
- 近藤久子委員 26日が第1候補。
- 吉川遂也委員長 ではそうしましょう。そのほかにも皆さんからありますか。ないようなので、以上をもちまして企画建設常任委員会を散会します。

午後0時23分 散 会

庄原市議会委員会条例第 30 条の規定によりここに署名する。

企画建設常任委員会

委 員 長